

サキドリ教育課程：変革に挑む教師の「期待」と「葛藤」の現在地

新しい教育課程（サキドリ）の導入にあたり、現場の先生方は先進的な取り組みへの高揚感（ワクワク）を抱く一方で、複雑な時間割通用への戸惑いや不安も感じています。しかし、これらを「マネジメント力の向上」の機会と捉え、従来の教える立場から、子供の学びに寄り添う「伴走者」へと自らを変客させようとする前向きな姿勢が示されています。

